

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(防潮壁)

No.	指摘日	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
申	設置変更許可審査からの申送り事項 No.74【E-15】	設置基準 条文 5条	耐津波設計(防潮壁)	—	防潮壁に使用する止水ジョイントの空気加熱老化試験について、先行プラント又は同様の試験と比較した上で妥当性を説明する。	空気加熱老化試験結果について、先行プラントの試験結果との比較結果について、今後説明する。	—	今後回答	設置変更許可審査からの申送り事項であるため、コメント内容欄には事業者の対応方針を示す
申	設置変更許可審査からの申送り事項 No.75【E-15】	設置基準 条文 5条	耐津波設計(防潮壁)	—	供用段階で実施する支承ゴム、止水ジョイントの暴露試験の試験頻度について、詳細設計や劣化予測試験結果等を踏まえ説明する。	空気加熱老化試験結果等を踏まえた、支承ゴム、止水ジョイントの暴露試験の試験頻度について、今後説明する。	—	今後回答	設置変更許可審査からの申送り事項であるため、コメント内容欄には事業者の対応方針を示す
1	2020/8/31	比較表(VI-1-1-2-2)	先行プラント比較表(VI-1-1-2-2 津波への配慮に関する説明書)	p56	防潮壁について、津波防護施設として位置付ける部位が要目表及び図面と整合しているか確認し、説明すること。	防潮壁について、上部工だけでなく下部工も含めて津波防護施設としているが、要目表・図面には津波を直接受ける上部工の主要な寸法等を記載している。下部工も含めた寸法等の照査に必要な情報については、耐震計算書や補足説明資料等に記載した。	VI-2-10-2-3(O2-工-B-13-0001_改0) p.6~8, 64~65 補足-140-1(O2-補-E-01-0140-1_改6) 6.3-1 p.20~26	今回回答	
2	2020/10/5	補足-600-1	地盤の支持性能について	p56	鋼管杭下方のCL級岩盤をMMRで置換することについて、構造の形式がわかるように説明すること。	杭下端部の支持方法として、杭を岩盤内に根入れさせた場合に岩盤表面でのせん断力が増加して耐震性が低下する可能性を考慮し、杭下端のCM級岩盤上面からCL級岩盤上面までをMMRで置換する設計について、設計・施工の考え方を記載した。	補足-140-1(O2-補-E-01-0140-1_改6) 6.3 参考資料1 p(参考)1-19~1-26	今回回答	
3	2020/10/26	VI-1-1-2-2-4	津波への配慮に関する説明書	p14	防潮壁の鋼製扉を15分以内に開閉可能である根拠及び15分で開閉できることをどのように確認するのかを資料化し、説明すること。	防潮壁内への車両進入のための鋼製扉について、人力で15分以内に開閉可能と見込んでいる根拠、現地掘付後の実際の確認方法について、鋼製扉部の計算書説明時に説明する。	—	今後回答	
4	2020/10/26	VI-1-1-2-2-4	津波への配慮に関する説明書	p27	第2号機放水立坑に近接している防潮壁について、地震による放水立坑の損傷等を考慮しても杭の水平抵抗力や防潮壁の健全性を確保できるかについて、今後の計算書説明に併せて説明すること。	第2号機放水立坑周辺の防潮壁は、杭を岩盤又は改良地盤に埋め込んだ構造としており、放水立坑の損傷を考慮した場合においても杭の水平抵抗力や防潮壁の健全性を確保できることについて、今後説明する。	—	今後回答	

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(防潮壁)

No.	指摘日	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
5	2020/12/2	補足-600-1	地盤の支持性能について	p16	防潮壁の杭下端のMMRの設置目的, 設計の考え方等について, 今後の計算書説明時に説明すること。	杭下端部の支持方法として, 杭を岩盤内に根入れさせた場合に岩盤表面でのせん断力が増加して耐震性が低下する可能性を考慮し, 杭下端のCM級岩盤上面からCL級岩盤上面までをMMRで置換する設計について, 設計・施工の考え方を記載した。	補足-140-1(O2-補-E-01-0140-1_改6) 6.3 参考資料1 p(参考)1-19~1-26	今回回答	
6	2021/1/20	VI-3-別添 3-1	津波への配慮が必要な施設の強度計算の方針	p32	第3号機放水立坑に設置する防潮壁について, 鋼管杭と場所打ちコンクリート杭の接続部の施工方法及び構造成立性を説明すること。	鋼製遮水壁(鋼桁)の一部基礎において, 基礎杭の間隔が拡がり, 他の基礎杭と比べ 大きな曲げ抵抗や支持力を確保する必要があることから場所打ちコンクリート杭を採用すること及び採用箇所の詳細並びに施工方法や設計方法を記載した。	補足-140-1(O2-補-E-01-0140-1_改6) 6.3 参考資料1 p(参考)1-27~1-30	今回回答	

女川2号工認 記載適正化箇所(防潮壁)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当項	適正化内容	完了年月日	備考
1	補足-140-1	津波への配慮に関する説明書の 補足説明資料	p78	杭基礎の支持性能評価において、周面摩擦力がダブルカウントにならないこととして、杭頭の鉛直力を用いて照査することを明記した。	2021/2/24	
2	—	—	—	第3号機放水立坑周辺の防潮壁において、岩盤形状を踏まえた杭先端部分の安定性について、改良地盤の安定性や杭先端部における岩盤の水平抵抗力の観点から、防潮壁の健全性を確保できることについて、今後説明する。	—	